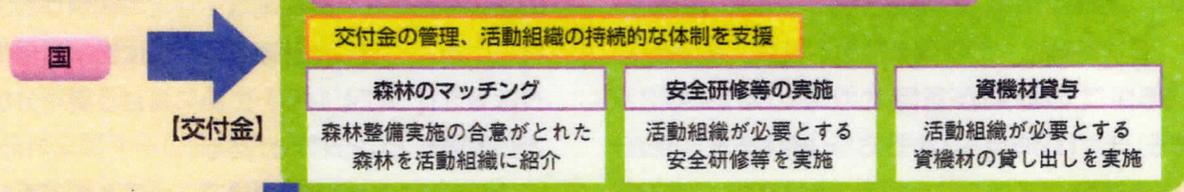


資料Ⅲ－43 森林・山村多面的機能発揮対策交付金の概要

背景 森林の有する多面的機能の発揮には、適切な森林整備や計画的な森林資源の利用が不可欠だが、地域住民と森林との関わりが希薄化し、適切な森林整備等が行われていない箇所が見られる。

事業 地域住民、森林所有者、自伐林家等が協力して実施する里山林の保全、森林資源の利活用、森林環境教育・研修活動など、以下の取組を支援。

【事業の内容】



活動組織：地域住民、森林所有者、自伐林家等で構成

支援対象となる活動組織の活動内容例

<p>地域環境保全タイプ</p> <p>里山林景観を維持するための活動</p>	<p>森林資源利用タイプ</p> <p>しいたけ原木などとして利用するための伐採活動</p>	<p>教育・研修活動タイプ</p> <p>森林環境教育の実践</p>	<p>森林機能強化タイプ</p> <p>路網の補修・機能強化等</p>
--	---	---	--

評価検証事業受託者：民間団体

上記の活動の評価・検証等

活動の成果の評価・検証

地域協議会、活動組織等を集めた報告・意見交換会

資料：林野庁森林利用課作成。

事例Ⅲ－7 地域の歴史・文化を活かした里山再生の取組

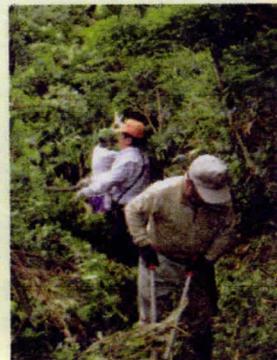
秋田県せんほくぐん仙北郡みやまき美郷町の金沢地区の里山林は、以前は手入れが行き届いていたが、近年ではかつて利用されていた山道がわからないほど荒廃が進んでいた。

このような中、地域の住民から成る「金沢諏訪堂の会」は、林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」を活用しながら、里山林の再生に取り組んでいる。これまでに、里山林の間伐、携帯GPS機器を活用した山道の位置の特定やその修繕を行ってきた。

同地区は、周辺の里山に歴史に関わる史跡が残っているなど、歴史と里山の関わりが深い地区であり、同会では、同交付金を活用した活動の他に、歴史を振り返るシンポジウム等も開催している。地域の歴史と里山の自然という2つの地域資源を活用した活動を一体として行うことで、地域住民の関心が高まり、賛同者の増加につながっている。



里山林の整備



山道の整備

資料：「活動事例集（平成26年度作成）」（林野庁ホームページ「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」）